

栗原市伊治城跡から読み解く 東北古代史

奈良時代に律令国家は多賀城を作り、陸奥国を支配した。

大崎平野までを支配した律令国家はさらに北をめざし、栗原の地に伊治城を作ったが大規模な蝦夷の反乱に遭った。

律令国家と蝦夷が対峙し、動乱の地となった古代の栗原には東北古代史を読み解くたくさんの手がかりが残されている。

2016年9月19(月)

10:00~16:30

栗原文化会館(アポロプラザ)

入場無料・申込不要



発掘調査成果からみた伊治城と古代栗原郡

安達 訓仁 (栗原市教育委員会)

律令国家の拡大と城柵構造

—伊治城跡と桃生城跡の成果を中心に—

村田 晃一 (宮城県文化財保護課)

鳥矢ヶ崎古墳群と伊治公一族

辻 秀人 (東北学院大学)

伊治城をめぐる交通と征夷

永田 英明 (東北大学史料館)

律令国家の北縁部、大崎・栗原地方

熊谷 公男 (東北学院大学)

講演

共催

東北学院大学アジア流域文化研究所

「新時代における日中韓周縁域社会の宗教文化構造研究プロジェクト」
(文部科学省：私立大学戦略的研究基盤形成支援事業)

東北学院大学文学部歴史学科 東北学院大学共同研究助成
「都市平面プランの思想的規範に関する比較史的研究」

栗原市教育委員会

後援

宮城県考古学会

お問い合わせ先

東北学院大学アジア流域文化研究所

〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋 1-3-1 TEL・FAX : 022-264-6370

E-mail : ryuiki@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

Web : <http://www.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/~hicarb/>

会場案内図

